

第62回廿日市市都市計画審議会【議事概要】

日 時	令和7年7月22日(火) 9:30~12:00
場 所	廿日市市役所2階 201会議室
出 席 員	福田由美子(会長) 福原輝幸 田中貴宏 小田真 浅岡英二 正木文雄 永本清三 岩木國明 相川みどり 井手ヶ原誠 新沢亮二 中島康二 井上佐智子 栗栖俊泰
議 題	議案 (1) 廿日市市都市計画審議会会長選出について 説明 (1) 廿日市市都市計画マスタープランの素案について(全体構想まで) (2) 廿日市市立地適正化計画の素案について(防災指針など)

1. 開会

2. 議案

(1) 廿日市市都市計画審議会会長の選出について

○結果

福原由美子委員を会長に選任する。

3. 説明

(1) 廿日市市都市計画マスタープランの素案について（全体構想まで）

—主な質疑—

○委員 廿日市市においては、どうしてもシビックコアをはじめとして廿日市地域が中心になってしまっていると思います。佐伯・吉和地域など中山間地域のこともしっかりと検討するべきではないでしょうか。例えば、農業、林業、そういう生産物をしっかりと廿日市全体で活用するとか。都市計画なので、こういった視点は、難しいとは思いますが、ぜひ検討していただきたいと思っています。

○事務局 農業の観点、農業振興ビジョンに沿った内容とし、本都市計画マスタープランも表現する必要があります。農業を中心とした受け皿は、関係課と調整をし、記載内容について、工夫させていただきます。

○委員 廿日市市には、さまざまな計画がある中で、本計画は、それらの計画と整合を図るものなのか、今回意見させていただく内容は、庁内でも共有していただけるのか。

○事務局 庁内での会議、議会、関係課にもお伝えし進めていきたいと考えています。

○委員 富山市の事例を踏まえるとコアとなった地域とならない地域での交通支援に差が生じています。コアとなった地域、吉和支所、佐伯支所に行くところまでの交通支援がないと、買い物難民、病院に行けない等も発生してしまうことが懸念されます。森と文化の交流ゾーンとして、吉和や佐伯は、観光客への売りとなると考えています。住んでいる方々にも協力していただける構

造が望ましいと思います。

○事務局　最初に質問いただいた交通について、特に中山間の地域医療、スーパーへの移動が難しいと聞いています。子どもたちの通学に配慮しないといけないと考えています。地元要望に応じて、浅原デマンドバスについては、路線延長をしています。今後も地域の声を聞いて対応していきたいと考えています。

○委　員　今後、パブリックコメントで、動画の配信とあるが、中山間地域のことがあまり記載されていなので、中途半端に伝わることの懸念があります。はつかいち未来ビジョンにおいては、各地域で説明会を実施する旨を聞いているが、この計画についても一緒に伝えてほしい。

○事務局　はつかいち未来ビジョン2035の地域説明会は各地域で開催されるため、そのときに都市計画マスタープランについても伝えていきます。また、今までは素案をホームページに掲載していたが、意見が乏しいことが多かったため、このたびは動画でホームページに掲載する予定にしています。今までとはやり方を変えてみようかと検討しています。動画配信により内容を理解できるものに作りあげていければと考えています。

○委　員　アンケート結果の渋滞対策の項目について、検討する旨の記載があるがもう少し掘り下げて検討いただきたい。

○事務局　宮島口の取組を想定として記載しており、地域全体の話となると、ここに記載されている内容とリンクされていませので、より分かりやすく記載方法について検討していきます。

○委　員　全体構想の繋がりがわかりづらいので、わかりやすく見せる工夫が必要だと思います。また、この中で抜けている点として、防災DXの検討をしていただきたいです。被災者の利便性をあげたりすることが、イコール自治体の負担軽減になるので、生産効率サービスだけでなく防災の中に入れるべきだと思います。

○事務局　はじめて計画を見る方にとっても、理解しやすいよう、できる限り工夫したいと思います。防災DXについて、危機管理部局とも連携をしてるところですが、都市マスにおいても記載していく方向で検討したいと思います。

○委員 まちづくりにおけるGXの取組といったときに、脱炭素エネルギーという話がある一方で、別の視点として、緑を増やしていくという視点もあります。例えば、街路樹を増やす等です。そういったことも記載があればいいのではないのでしょうか。

○事務局 この地球温暖化、気候変動について、対策の視点が主で、適応に関して視点がございませんでしたので、関係課と調整の上、記載について検討していきます。

(2) 廿日市市立地適正化計画の素案について（防災指針など）

—主な質疑—

○委員 大規模盛土やレッド区域について、具体的に廿日市市にどのくらいあり、住んでいる方がどのくらいいるのか気になったのですがどうでしょうか。

○事務局 市の把握では、260カ所となります。その中で、人が住んでいるかどうかまでは把握できていないのですが、ホームページにも公表してあります。隣り合っているものはまとめてあるため、数は少なくなっていると思います。

○委員 それから宮島地域が載っていないのですが、観光客の皆様のためには港湾整備、防災的な整備を検討してほしい。最後に14ページにある廿日市市で総合計画との整合とありますが、消防団の皆さんと市の方が来れない時に、防災士の活用を入れておかないといけないのではないか。総合計画にも反映できるよう検討をお願いします。

○事務局 貴重なご意見ありがとうございます。全て関連する計画と連携をとりながら進めていきたいと思います。南海トラフについては、市の中でも議論が進んでいるところです。計画に反映できるかたちで進めていくこととします。

○委員 先ほどの防災士のことについては、広島工業大学に防災士を取る仕組みがあります。そういう人たちを大学と結びつけて進めていくことも、廿日市市ならではのやりかたではないかと思います。

○事務局 関係部署がありますので、ご意見を伝えていきたいと思います。

4. 閉会